

注 記

絵には、額縁の下部に「岩生周一 於 テヘラン・1965. 8.」と記した銘板が額縁に取り付けられている。岩生周一会員が国連技術援助機構の仕事でテヘランに赴任していた時に描いたものと思われる。当協会に寄贈された経緯は不明である。

(テヘラン赴任に関する資料)

1) 四教授御退官 岩生周一 教授

—略—

昭和 28 年には国連アジア極東経済委員会鉱物資源開発地域会議日本政府代表随員として活躍され、同 38 年から 2 年間にわたり国連技術援助機構専門技師としてイラン国地質調査所設立に尽力された。

—略—

先生は非常に几帳面で、野外でも、教室内でも詳しいメモを取られ、「岩生メモ」として知られている。先生の実証的で緻密な研究はその健脚とメモから産まれたものであろう。

東京大学理学部広報第 5 巻第 2 号 昭和 48 年 4 月 5 日 p8

2) 二枚のクリスマスカード

私がイランで大変御世話になった人達から送られた沢山のクリスマスカードの中から 2 枚を選んでこの随想の糸口にしてみた。一つはイランの地質調査所 Geological Survey of Iran の所長 Dr. N. Khandem 氏からのもので、他の一つは私のある友人からのものである。

最初のカードにはイランの地質図が色刷りで綺麗に印刷されており、図柄の凡例が英語とペルシャ語で簡単に書き添えてある。

—略—

私はこの地質図がなぜか大好きで、折に触れては眺め、私がそこに滞在していた時(1964～1966 の 2 カ年間)歩いた幾場所かを思い出し、次に歩きたい地域を思いながら楽しむのである。

—略—

東京大学理学部広報第 5 巻第 9 号 昭和 48 年 12 月 10 日 p5-6

3) その他関連資料

平山 健 (1965) テヘランだより 地質ニュース 133 55-63 p55

平山 健 (1966) イランの地質調査事業 地学雑誌 75 168-172 p170